平成 20 年８月 12 日

各　　　位

会 社 名 不二精機株式会社
代表者名 代表取締役社長　　　伊井　剛
（JASDAQ　コード番号　６４００）
問合せ先 取締役管理本部長　　山本幸司
（TEL. 06 － 4306 － 6822）

中間（連結・個別）業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成 20 年２月 22 日に発表いたしました平成 20 年 12 月期（平成 20 年１月１日～平成 20 年 12 月 31 日）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

１．中間（連結）業績予想の修正(平成 20 年１月１日～平成 20 年６月 30 日）

（単位：百万円）

	売　上　高	営 業 利 益	経 常 利 益	当期純利益
前回発表予想（A)	4,487	△22	△88	△21
今回修正予想（B)	4,097	△115	△287	△233
増　減　額（B－A)	△390	△93	△199	△212
増　減　率（%）	△8.7%	－	－	－
（ご参考） 前中間期実績（平成 19 年 12 月期）	4,489	△135	△41	12

＜修正理由＞

売上高については、精密金型セグメントにおいて、顧客全般に発注時期の先延ばしが発生したことにより第一四半期の受注が低調であった結果、個別決算で当中間期末時点までの金型の生産高が予想を下回ったことなどによって、前回予想を 274 百万円下回る見込みであります。なお、第二四半期での受注回復により、上期累計の受注総額は前回予想を上回っており、下期の生産高および売上高に影響するものと判断しております。また、精密成形品セグメントにおいて、中国子会社での液晶関連成形品の量産開始の遅れがあり、デジカメ関連部品・プリンター部品などの増加があったものの、前回予想を 116 百万円下回る見込みであります。

営業利益については、上記の売上高減少の影響による稼働率の低下により売上原価に占める固定費の割合が増加したことによる原価率の悪化によって、前回予想を下回る見込みであります。

経常利益については、円高の進行により為替差損 67 百万円が発生したことなどにより、前回予想を下回る見込みであります。

当期純利益については、未払事業税の減少により法人税等調整額の計上額が増加したことなどによって、前回予想を下回る見込みであります。

２．中間（個別）業績予想の修正(平成 20 年１月１日～平成 20 年６月 30 日)

（単位：百万円）

	売　上　高	営 業 利 益	経 常 利 益	当期純利益
前回発表予想（A)	3,107	△2	△59	10
今回修正予想（B)	2,756	△101	△329	△281
増　減　額（B－A)	△351	△99	△270	△291
増　減　率（%)	△11.3%	－	－	－
（ご参考）前中間期実績 (平成 19 年 12 月期)	3,921	33	121	△61

＜修正理由＞

売上高については、精密金型セグメントにおいて、連結の修正理由に記載と同様の理由により、前回予想を下回る見込みであります。

営業利益については、連結の修正理由に記載と同様の理由により、前回予想を下回る見込みであります。

経常利益については、円高の進行により為替差損 153 百万円が発生したことなどにより、前回予想を下回る見込みであります。

当期純利益については、未払事業税の減少により法人税等調整額の計上額が増加したことなどによって、前回予想を下回る見込みであります。

３．連結通期及び個別通期(平成 20 年１月１日～平成 20 年 12 月 31 日)の業績予想について

連結通期及び個別通期の業績予想については、精査中であり、見通しが判明しだい速やかに公表いたします。

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は業況の変化などにより、上記予想数値と異なる場合があります。

以　上